

令和6年度  
中津川市総合計画推進委員会提言書

令和7年3月11日

中津川市総合計画推進委員会

## 目 次

1. 総論	．．．．P. 3
2. 評価・検証概要	．．．．P. 4
(1) 委員会の目的	．．．．P. 4
(2) 委員会での検証内容	．．．．P. 4
(3) 委員会開催経過	．．．．P. 5
(4) 委員名簿	．．．．P. 5
3. 第2回総合計画推進委員会 評価・検証結果	
I. 事業評価	
(1) 施策評価の概要	．．．．P. 6
(2) 令和5年度評価対象事業全体の目標達成状況	．．．．P. 6
(3) 「若者の定住戦略」における指標について	．．．．P. 7、8
(4) 主な意見	．．．．P. 8
II. 事業検証	
(1) 評価対象事業	．．．．P. 9
(2) 総合評価	．．．．P. 9
4. 資料	
①令和6年度事業計画書・事業評価書「ひと・まちテラス運営事業」	
②令和6年度事業計画書・事業評価書「木材関連産業人材確保事業」	
③令和6年度事業計画書・事業評価書「企業誘致推進事業」	
④令和6年度事業計画書・事業評価書「結婚活動支援事業」	

## 1 総論

本年度は中津川市総合計画後期事業実施計画の2年目がスタートし、中津川市総合計画推進委員会が中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む後期事業実施計画を総合的に評価検証する役割を担当している。また同時に次期総合計画の策定も開始され、今期の総合計画の全期間12年の成果が問われる時期となっている。

本委員会では委員から、幅広い視点で後期事業実施計画の評価をいただきましたことをまず感謝申し上げたい。また、市役所の担当課の皆様にも検証にあたり準備、説明などいただきましたことを感謝申し上げます。

先に申し上げた通り本年度は後期事業実施計画の2年目ということで、令和5年度の事業実施計画の主な目標数値の振り返りと共に、後期事業実施計画に掲げる事業のうち、重点的に取り組むこととしている「地域創生まちづくり戦略」より「若者の定住戦略」を中心に、4項目について分野横断的に検証を行った。その成果は本報告書にまとめられているように大変大きなものであったと確信している。事業評価の詳細については、後述される報告において明確にされているのでそちらを参照していただきたい。

5年度の目標数値の検証の際に、40歳代以下の転入転出人口の増減について目標数値が大きく達成していることが報告された。目標数値は-386人以内だったのに対して+9人という結果である。その要因を検証していくと外国人の転入超過が大きく影響していることがわかる。このように事業の目標設定時には想定していなかった状況が発生し目標数値を達成したが、次の報告である合計特殊出生率の著しい減少にこのことが繋がっている。このことから総合計画の目標数値の設定の難しさや、公的サービスの成果の検証の困難さ、複雑さが理解でき、事業評価に対して謙虚な姿勢で臨むことが私たち委員にとっても重要であると改めて認識した。総合計画は地域にとって重要な計画であり目標数値の達成に向けた取組は重要であるが、変化に対応する柔軟な組織や意思決定についても留意していくことも同様に重要である。

後期事業実施計画においては、残り2年となり次期総合計画への継続性の検討とともに、取捨選択をするべき事業も今後明確になっていくことだろう。事業計画を今後実行する中で常に他の事業との関連、有効かつ無駄のない事業実施が今後行われるよう本委員会でも継続して検証していくことを約束して本提言書の総論とする。

中津川市総合計画推進委員会  
委員長 須栗 大

## 2 評価・検証概要

### (1) 委員会の目的

- 「中津川市総合計画後期事業実施計画（中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」に位置付けた事業の進捗や課題等を評価・検証することで、次の効果を生み出し、事業の推進を図る。
  - ・市の施策や事業を評価し、「なかなか進んでいない」「効果が上がっていない」などの問題点を洗い出すことで、その原因を改善し、進捗のスピードアップを図り、効率よく事業効果をあげる。
  - ・事業を横断して評価することで、部を超えた事業の横のつながりを作り出し、連携により事業に相乗効果を生み出す。
  - ・評価結果を広く市民へ周知し情報を共有することで、市民と行政の協働意識を高め、共にまちづくりを推進する。

### (2) 委員会での評価・検証内容

- 令和5年度に実施した後期事業実施計画に掲げる事業について、評価を行う。
- 後期事業実施計画に掲げる事業のうち、重点的に取り組むこととしている「地域創生まちづくり戦略」より「若者の定住戦略」を中心に、次の4項目について分野横断的に検証を行う。

地方創生まちづくり戦略	目指すまちづくり	評価事業名
戦略Ⅰ リニアを活かす戦略	中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	ひと・まちテラス運営事業
戦略Ⅱ 若者の定住戦略	ひとを育てるまちづくり	木材関連産業人材確保事業
戦略Ⅱ 若者の定住戦略	仕事を選び、働き続けられるまちづくり	企業誘致推進事業
戦略Ⅱ 若者の定住戦略	結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	結婚活動支援事業

### (3) 委員会開催経過

	日にち	議事概要
第1回	令和6年 6月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度検証事業報告</li> <li>令和6年度総合計画推進委員会について</li> <li>後期事業実施計画の評価検証事業について</li> </ul>
第2回	令和6年 12月20日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度事業評価</li> <li>令和6年度事業検証</li> </ul>
第3回	令和7年 3月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期事業実施計画評価・検証結果のとりまとめについて</li> <li>令和6年度中津川市総合計画推進委員会提言書の採択</li> </ul>

### (4) 委員名簿

(令和7年3月11日現在)

【順不同・敬称略】

	氏名	分野	備考
委員長	須栗 大	教育	中京学院大学 教授
副委員長	瀬瀬 康雄	住民	元県立学校校長
委員	成瀬 博明	産業	中津川商工会議所 専務理事
委員	岩木 健	産業	中津川北商工会 事務局長
委員	瀬瀬 理恵	官公庁	中津川公共職業安定所 所長
委員	田並 正	教育	岐阜県立中津川工業高等学校 教頭
委員	佐藤 祐司	金融	十六銀行中津川支店 支店長
委員	堀尾 憲慈	労働団体	連合岐阜東濃地域協議会 事務局長
委員	土屋 厚子	住民	農業委員
委員	小木曾 淑子	住民	こうじキッチンこぎちゃん(自営業)
委員	小島 未来	住民	子育てサークルはっぴーたん

### 3 評価・検証結果

#### I. 事業評価

##### (1) 令和5年度施策評価の概要

- 事業実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日
- 施策数
  - ・重点施策：20施策
  - ・基本施策：36施策
- 施策指標数：125指標（内重複15指標）
- 事業数：152事業
- 評価方法：
  - ・重点施策、基本施策に定める事業を定量的に評価する
  - ・重点的に取り組むこととしている若者の定住について、代表的な指標である「転入人口・転出人口の差引（40歳以下）」、「合計特殊出生率」について評価・分析を行う。

##### (2) 令和5年度評価対象事業全体の目標達成状況

中津川市後期事業実施計画における各施策の指標の達成状況のまとめは下表のとおり。令和5年度における全指標の平均目標達成率は117.5%、令和8年度目標に対する令和5年度における全指標の平均目標達成率は35.2%であり、一部進捗が思わしくない施策もあるが、総じて後期事業実施計画の進捗率は順調であるといえる。

目標達成率（実績値/目標値）	令和5年度目標に対する達成状況	計画期間全体に対する達成状況
S：120%以上	15	2
A：100%以上 120%未満	23	0
B：70%以上 100%未満	25	8
C：50%以上 70%未満	5	4
D：0%より上 50%未満	2	24
E：0%以下	13	13
評価未実施	27	59
令和5年度における全指標の平均目標達成率	117.5%	
令和8年度目標に対する令和5年度における全指標の平均目標達成率		35.2%

※125指標のうち重複15指標を除く

※令和5年度の目標の評価未実施について、主な項目は隔年のアンケート調査結果を指標としているものなどの、令和5年度は評価を行っていないもの

※令和5年度は評価されており、計画期間全体では評価未実施となっているものについては、「待機児童数」等の、最終年度での評価でなければ達成状況を評価できないもの等

### (3) 「若者の定住戦略」における指標について

#### ●転入人口・転出人口の差引（40歳以下）

#### ○分析結果

「転入人口・転出人口の差引（40歳以下）」について、令和5年度目標の「386人以内の減少」に対して、実績は「9人の増加」と大幅な達成であった。

令和8年度の目標は「155人以内の減少」であり、対令和8年度目標も達成しているという状況にある。

その要因を分析すると、次の表1のとおり外国人転入者の増加によるものであることが分かる。外国人転入者については、技能実習生、留学生等の一時的な居住者が主であることが想定されるため、若者の地元定着について、指標の達成状況がそのまま施策の成果として現れているわけではないことが分かる。

#### ○数値目標

	R3 実績	R5 目標	R5 実績	R8 目標
転入転出人口の差引き (40歳以下)	-463	-386 (+77)	9 (+472)	-155 (+231)

#### ○表1

		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		日本人	外国人								
転入	男	919	458	971	232	875	269	906	450	912	529
	女	781	331	692	139	687	203	650	406	606	398
転出	男	1085	323	1120	237	1015	306	1044	364	1047	338
	女	1031	194	929	154	860	196	909	311	859	257
増減	男	-166	135	-149	-5	-140	-37	-138	86	-135	191
	女	-250	137	-237	-15	-173	7	-259	95	-253	141
	合計	-416	272	-386	-20	-313	-30	-397	181	-388	332
総増減数		-144		-406		-343		-216		-56	

※住民基本台帳情報（1月～12月、全年齢）

## ●合計特殊出生率

### ○分析結果

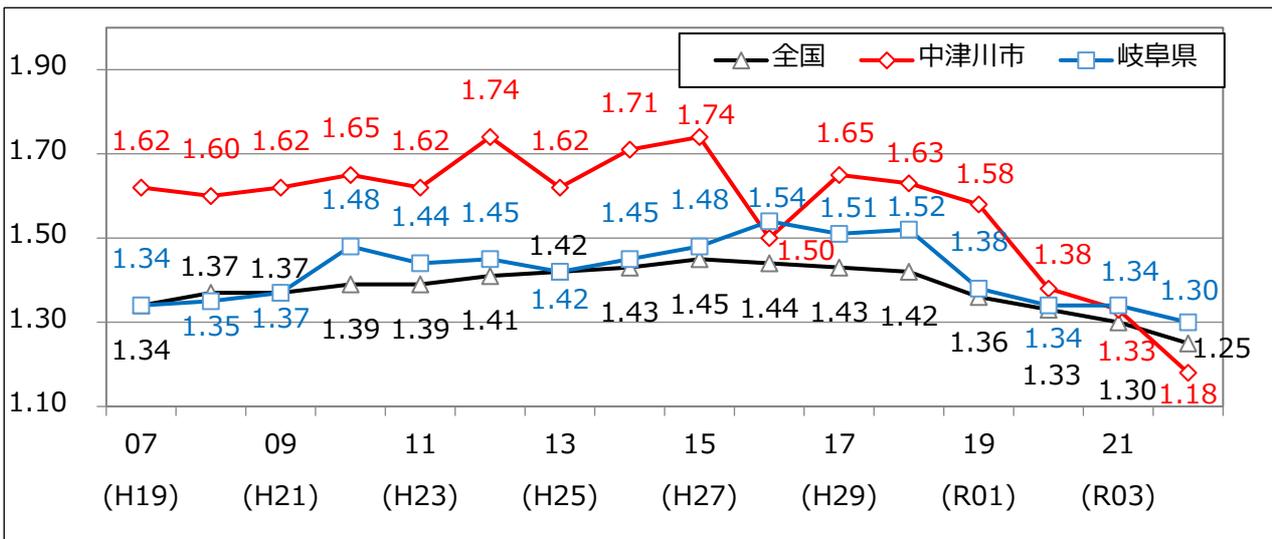
岐阜県の計画と合わせて、令和6年度の目標を1.6、令和8年度の目標を1.8として取り組んでいるが、令和4年度の実績は1.18であり、次の表2のとおり県平均、全国平均を下回る結果であった。

合計特殊出生率の減少は、中津川市における出生数の減少及び母数となる女性人口の減少が抑制された結果と考えられる。女性人口減少の抑制は、外国人転入者の増加が原因の一つと考えられるため、定住の観点から注意が必要である。また、出生数の減少については、婚姻数の減少が要因として考えられ、子育て支援の他にも、就労支援、労働環境改善、賃金上昇など、複合的な政策が必要である。

### ○数値目標

	R3 実績	R5 目標	R5 実績	R8 目標
合計特殊出生率	1.58	1.6	1.18 (R4)	1.8

○表2



## (4) 主な意見

### ○上記(1)～(3)に対する主な意見

- ・若者の定住を推進するためには、若者に対して、地元には就職の受け皿となる企業があるということをしっかり伝えていく必要がある。
- ・可処分所得で見ると、都会と比べ、地元での生活も悪くないと言える。そういったアピールをし、若者やその家族などへの意識づけをすることが重要である。
- ・外国人が増えてきていることは良いことである。それを活かしていけるような施策が必要となってくるが、現状、そのような施策が足りておらず、外国人が婚姻して、子どもを産んでもらえるような状況にはなっていない。このようなことが可能となるまちになっていけば、外国人の増加が合計特殊出生率等に良い影響を与えることができるのではないか。

## II. 令和6年度事業検証

### (1) 評価対象事業

○中津川市総合計画後期事業実施計画地域創生まちづくり戦略の戦略Ⅰ「リニアを活かす戦略」、戦略Ⅱ「若者の定住戦略」に定められた次の令和6年度の事業について評価・検証を行った。

地方創生まちづくり戦略	目指すまちづくり	評価事業名	担当課
戦略Ⅰ リニアを活かす戦略	中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	ひと・まちテラス運営事業	ひと・まちテラス
戦略Ⅱ 若者の定住戦略	ひとを育てるまちづくり	木材関連産業人材確保事業	林業振興課
戦略Ⅱ 若者の定住戦略	仕事を選び、働き続けられるまちづくり	企業誘致推進事業	企業誘致課
戦略Ⅱ 若者の定住戦略	結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	結婚活動支援事業	定住推進課

### (2) 総合評価

#### ○第2回中津川市総合計画推進委員会における主な評価のまとめ

令和6年度は後期事業実施計画に掲げる事業のうち、重点的に取り組むこととしている「地域創生まちづくり戦略」より「若者の定住戦略」を中心に、分野横断的に検証を行った。

#### 【主な意見】

・あらゆる分野において、若者、女性へのPRが不足している。若者の定住を推進していくためには、中津川市の魅力や多様な支援策などをPRすることで、「住みやすい」、「住んでみたい」などの意識づけをする必要がある。ただ単に情報の発信をするだけに留まることなく、若者の興味を引くような情報、取組みなどを工夫しながら発信していけば、「田舎は住みづらい」という潜在的な意識を変えることができるのではないかと。

・企業等に対し、中津川市が持つアドバンテージなどを積極的にPRすることで、企業誘致の推進につながり、若者、女性の働きたい場所が創出され、若者の定住を促進することができるのではないかと。

・外国人転入者の増加が顕著となってきた中で、多言語対応などの支援が必要不可欠である。しかし、転入した外国人の多くは技能実習生や留学生等の一時的な居住が主であると想定され、合計特殊出生率の増加等に直接影響していないと分析することができる。その中で、外国人の住みやすい環境を整備することによって、定住する外国人の増加を図り、合計特殊出生率に良い影響を与えるようにするべきである。

# 令和 6年度事業計画書・事業評価書

## 1. 事業概要

事業名	ひと・まちテラス運営事業			事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで		
部・局名	■【商工観光部】		課・所属名	ひと・まちテラス			
予算科目	会計		款	項	目		
	1 一般会計		7 商工費	1 商工費	1 商業振興費		
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち		中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち		
	小区分	2 商業振興		戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア開業を見据え、中心市街地活性化基本計画に基づき、子育て支援や市民交流、学び、観光の拠点となる場を提供します。</li> <li>・市民にとって利便性の高い複合施設として、中心市街地のにぎわい創出と活性化を図ります。</li> </ul>						
中長期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地のにぎわいを創出します。 中心市街地地区内の歩行者交通量：6,557人/日</li> </ul>						
中長期的な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における人の流れが活発であり、市全体の活性化が図られます。</li> </ul>						
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源	
	令和 5年度	69,752	0	0	1,033	68,719	58,451
	令和 6年度	83,530	0	0	5,451	78,079	46,342
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0
令和 8年度	0	0	0	0	0	0	

## 2. 指標

指標名	ひと・まちテラス利用者数		指標説明	ひと・まちテラス利用者数		単位 人
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	430,000	431,000		433,000	435,000	
実績	316,581					
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

### 3. 事業評価

#### 令和 6年度事業の内容

<イベント運営> 4,032千円

- ・子どもの未来をテラス ワクワク体験事業（中心市街地まちづくりアクションプラン掲載事業）
- ・その他イベント開催委託料、謝礼等

<施設管理> 79,498千円

- ・貸館受付等窓口業務
- ・施設清掃業務
- ・施設警備・セキュリティ業務
- ・施設設備の維持・保守・管理・点検測定業務等

#### 『参考』

<中心市街地地区内の歩行者交通量>

- ・R4年度実績：3,944人/日
- ・R5年度実績：5,103人/日

<施設入館者数>

- ・R5. 7. 15～R6. 2. 29現在：285,306人

#### 令和 6年度事業の評価結果

- ・市民のわかりやすさを重視するため、ひと・まちテラスと図書館の2つの部署を1つにした方が良い。
- ・外国人の観光客や移住者が増加してきている中で、特に言語の対応について、外国人にわかりやすくすべきである。
- ・ひと・まちテラスは過ごしやすく、使いやすいが、図書館機能がより注目されているように感じる。図書館機能だけでなく、人が集まる場所という機能について、もっとPRをしていくべきである。
- ・ひと・まちテラス3階の子育て支援センターについて、利用可能なこどもの年齢層が低いため、もう少し、年齢を引き下げると、利用者が増加するのではないか。

#### 令和 6年度事業の改善事項等

#### 令和 6年度事業の実績

# 令和 6年度事業計画書・事業評価書

## 1. 事業概要

事業名	木材関連産業人材確保事業			事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名	■【農林部】		課・所属名	林業振興課		
予算科目	会計		款		項	
	1 一般会計		6 農林費		3 林業費	
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち		中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち	
	小区分	4 林業振興		戦略施策	11-2-1 ひとを育てるまちづくり	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木に触れ、木を知り、身近にある森林について考える機会を提供するため、市産材を活用した木製品や木製教材を贈呈します。</li> <li>・また、森の担い手育成拠点として、ぎふ木遊館サテライト施設の管理運営を行います。</li> <li>・職業選択肢を広げるとともに、新規就労者の確保につなげるために、森林文化アカデミーの学生に森林林業を体験する機会を提供します。</li> <li>・新規就労者の確保、定着につなげるため、新規林業労働者の就業支援や資格取得支援を行います。</li> </ul>					
中長期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業の担い手を将来にわたって確保し、持続可能な森林経営を推進します。</li> <li>市補助制度を用いた新規林業従事者数：5人/年</li> </ul>					
中長期的な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼少期から木に触れる機会を増やすことで、木を知り、木を使える人を育てることにつながります。</li> <li>・森林文化に触れるとともに、林業、製材業、木造建築、木工体験を通じて、次世代の後継者確保につながります。</li> </ul>					
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)			決算額(千円)
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源
	令和 5年度	104,100	37,866	0	3,319	62,915
	令和 6年度	34,861	1,200	0	3,880	29,781
	令和 7年度	0	0	0	0	0
令和 8年度	0	0	0	0	0	

## 2. 指標

指標名	修学支援金の利用者数		指標説明	修学支援金の利用者数		単位 人(累計)
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	1	2		3	4	
実績	0					
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

### 3. 事業評価

#### 令和 6年度事業の内容

- ＜森の担い手育成事業＞ 13,546千円
  - ・新乳幼児向け木製品制作 400個、新入園児向け木製品制作 500個、新入学生向け木製品制作 600個
  - ・中学校1年次技術科教材 660個、技術講師および森林文化講師を派遣 12校
  - ・木材関連産業および森林整備の視察研修（森林文化アカデミーの学生対象）
  - ・林業従事者等修学支援 2人、新規林業従事者支度支援 5人、林業労働力資格取得支援 25人、林業従事者就労準備支援 2人、新規林業従事者就労支援 5人、木育等民間活動団体支援 15団体
- ＜ぎふ木遊館サテライト施設事業＞ 16,008千円
  - ・森の担い手育成補助員 3人、森の担い手育成コーディネート委託 12か月、施設運営業務委託 12か月
  - ・施設光熱水費、施設点検料等負担金
- ＜なかつがわ山の日イベント＞ 2,000千円
  - ・山の日イベントと同時にサテライト施設オープニングイベントを開催
- ＜林業就業移住支援事業＞ 1,600千円
  - ・林業就業者の移住支援 2人

#### 令和 6年度事業の評価結果

- ・林業の人材に関するパンフレットの中で、給与等の情報が掲載されていると、パンフレットを見た人が就職、転職を考えやすくなるのではないかと。高校生や一般の方に分かりやすいように工夫して情報を発信することができれば、林業が職業選択の1つとして考えてもらえるのではないかと。
- ・外国人向けに中津川市の山林ツアーパッケージがあっても良いのではないかと。

#### 令和 6年度事業の改善事項等

#### 令和 6年度事業の実績

# 令和 6年度事業計画書・事業評価書

## 1. 事業概要

事業名	企業誘致推進事業			事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名	■【商工観光部】		課・所属名	企業誘致課		
予算科目	会計		項		目	
	1 一般会計	7 商工費	1 商工費	2 工業振興費		
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち		中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち	
	小区分	1 工業振興		戦略施策	11-1-1 リニアの宿場を創るまちづくり	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く場を求めて若い世代を中心に市外へ流出しており、安心して働く場の創出が求められています。</li> <li>市内企業の振興はもとより、新たな分野の企業を誘致することにより働く場を創出し、活気あふれるまちづくりを目指すため、リニア岐阜県駅の西側に中津川西部テクノパークを整備します。</li> </ul>					
中長期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニアホームタウンの独自性を活かし、本社機能や研究所等をもつ多様な企業を誘致するため西部テクノパークを整備します。</li> <li>西部テクノパークの整備率（事業費ベース）：48.92%</li> </ul>					
中長期的な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き手が望む様々な業種、職種の働く場が確保され、市内での勤労者が増加します。</li> </ul>					
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)			決算額(千円)
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源
	令和 5年度	187,035	2,197	0	100,000	84,838
	令和 6年度	81,128	2,502	0	0	78,626
	令和 7年度	0	0	0	0	0
令和 8年度	0	0	0	0	0	

## 2. 指標

指標名	本社機能移転等による奨励金交付事業者数		指標説明	本社機能移転等による奨励金交付事業者数		単位 社(累計)
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標	1	2	3	4		
実績	2					
実績の根拠						

指標名	市外本社企業訪問回数		指標説明	市外本社企業訪問回数		単位 回
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標	50	50	50	50		
実績	8					
実績の根拠						

指標名	事業の進捗率【西部テクノパーク】 (事業費ベース)		指標説明	事業の進捗率【西部テクノパーク】 (事業費ベース)		単位 %
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標	17.39	23.28	23.53	48.92		
実績	14.19					
実績の根拠	全体事業費からの割合					

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
目標						
実績						
実績の根拠						

### 3. 事業評価

令和 6年度事業の内容

<中津川西部テクノパーク事業用地購入> 16,472千円

・用地購入費

A=1,900㎡

・立木補償費

・用地分筆測量登記業務

・土地等鑑定業務

<開発可能性調査> 2,610千円

・工場用地開発可能性調査

<企業立地動向調査> 2,393千円

・企業立地動向調査 400社

・企業情報調査 5社

令和 6年度事業の評価結果

・西部テクノパークに誘致する企業について、工業系などの1つの分野に特化するのではなく、幅広い分野の企業を誘致すべきである。若者や女性が働きたいと思える企業や、学校などを誘致することで、若者の定住につながっていくのではないかと。

・企業誘致によって創出される様々な効果を高めるために、他の部署との連携を密にして行い、相乗効果を高めていくべきである。

・企業を誘致できたとしても、その企業で働く人材がいなければ、立ち行かなくなってしまう。企業誘致と同時進行で、働く人の住みやすい環境の整備、支援を充実させることができれば、人材の確保につながるのではないかと。

・テレワークの普及によって、大都市から離れて仕事ができるようになってきているため、自然あふれる中津川市で働ける環境を整え、企業側へアプローチすることで、企業誘致が推進され、働く場の創出、若者の移住定住につながるのではないかと。また、リニア中央新幹線開業に合わせ、コワーキングスペースなどを誘致することで、リニアとの相乗効果を高めることができるのではないかと。

令和 6年度事業の改善事項等

令和 6年度事業の実績

# 令和 6年度事業計画書・事業評価書

## 1. 事業概要

事業名	結婚活動支援事業			事業期間	令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名	■【定住推進部】		課・所属名	定住推進課		
予算科目	会計		款		項	
	1 一般会計	2 総務費	1 総務管理費	6 企画振興費		
施策体系	大区分	1 人々がかがやくまち		中区分	1 将来を担う人材が育つまち	
	小区分	3 少子化対策・子育て支援		戦略施策	11-2-3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	
事業の概要	<p>・人口減少における一番の課題は出生数の減少です。晩婚化、未婚化、共働き家庭の増加等の社会情勢の変化に伴い、結婚・出産・育児の多様な市民ニーズへ対応するため、結婚相談員による結婚相談所を運営するとともに、婚活イベントを開催し、未婚者の出会いのサポートを行います。</p> <p>・未婚者の出会いの場を創出するための市内各地域の結婚支援活動への補助や、他自治体、県との連携による広域的なお見合いのサポートを行います。</p>					
	<p>・未婚者に出会いのサポートを行い、婚姻者数を増やし、本市の少子化対策の強化を図ります。 支援事業による成婚数：4組/年</p>					
	<p>・未婚者の結婚意欲の向上により、結婚するカップルや出生数の増加が見込まれます。</p>					
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)			決算額(千円)
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源
	令和 5年度	1,138	104	0	0	1,034
	令和 6年度	959	104	0	90	765
	令和 7年度	0	0	0	0	0
令和 8年度	0	0	0	0	0	

## 2. 指標

指標名	結婚相談所利用件数		指標説明	結婚相談所開設一回あたり利用件数	単位 人/回
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	2.5	2.5		2.5	2.5
実績	2.9				
実績の根拠	R3 2.7人/回				

指標名	婚活イベント実施開催数		指標説明	婚活イベント実施開催数	単位 回
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度
目標	3	3		3	3
実績	2				
実績の根拠	R3 0回				

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

### 3. 事業評価

令和 6年度事業の内容

<結婚相談事業> 712千円

- ・結婚相談所の開設 2回/月
- ・相談員（6名）による日常的なメール、電話相談を実施
- ・相談員連絡会議の開催

<結婚セミナー・婚活パーティー事業> 157千円

- ・婚活に有効なスキルを学ぶセミナーの実施および婚活イベントを実施
- 婚活セミナー 1回、婚活パーティー 1回

<地域等の結婚活動支援事業> 90千円

- ・地域や団体が主体となって取り組む婚活イベントを支援（区長会等3団体）

令和 6年度事業の評価結果

- ・参加しない人がなぜ参加しないのかという理由を分析し、どんな人でも参加しやすい制度にしていくべきである。
- ・婚活イベントを通して、カップルとなった方々が、この先、中津川に住んでもらえるのか、また、その理由についてデータを取って分析し、今後活かしてほしい。
- ・「結婚活動」という名前が、若者に一歩引かれてしまい、参加を躊躇させる1つの要因となっているのではないかと懸念。ネーミングを工夫し、「婚活」のイメージを出さず、参加しやすいイベントにしていけると良い。
- ・事業の目的は単に出生率の増加をさせるためのものではない。事業の目的について、もっと幅を持たせた方がよいのではないかと懸念。
- ・マッチングアプリ等は危険なイメージがあるが、自治体が主催する婚活イベントであれば、安心して参加できることもある。

令和 6年度事業の改善事項等

令和 6年度事業の実績